



**OWS**  
Research and Education  
Non-profit organization  
The Oceanic  
Wildlife Society

# REPORT 2023

2022.04~2023.03

特定非営利活動法人 OWS

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704



## 沿革

- 1998年 11月●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置
- 1999年 02月●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置  
06月●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置  
09月●東京都NPO法人の認証取得
- 2000年 02月●各種会員の募集開始  
03月●会報「季刊エブオブ」創刊  
08月●公式ホームページ開設
- 2001年 02月●会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏 就任  
06月●ネイチャースクール(自然体験学習プログラム)開始
- 2002年 01月●OWSネイチャーガイド養成コース開始  
04月●アンガウル州立自然公園プロジェクト開始  
09月●事務局を目黒区下目黒に移転  
10月●海のセミナー開始
- 2003年 06月●水中ゴミ調査開始  
09月●アンガウル州立自然公園ビジターセンターオープン  
11月●海のトークセッション開始
- 2004年 05月●長谷川博氏(東邦大学理学部教授)OWS会長就任  
06月●海辺の自然教室開始
- 2005年 09月●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始  
10月●事務局を豊島区雑司が谷に移転
- 2006年 01月●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始
- 2007年 07月●OWS 5人の写真展(巡回写真展)開始
- 2008年 03月●北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト開始  
05月●砂浜海岸生物調査開始
- 2009年 09月●ネイチャースクール 日帰りプログラム開始
- 2010年 03月●造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行  
05月●海辺のナチュラリスト講座開始
- 2011年 04月●東日本大震災 被災地支援活動開始  
06月●ミッドウェー環礁調査ツアー実施
- 2012年 06月●江奈湾干潟保全活動開始  
06月●未来に残したい海プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始  
12月●子どもフォトコンテスト開始
- 2013年 04月●江奈湾・昆沙門湾干潟生物調査開始  
07月●海洋ゴミ企画展開始  
11月●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転
- 2015年 04月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁サンゴモニタリング調査 開始(新サンゴ調査プロジェクト開始)
- 2017年 10月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での魚類調査開始
- 2018年 09月●OWS創立20周年と国際サンゴ礁年の特別イベントとして、海の話・サンゴの話を開催  
11月●世界最北のサンゴ礁対馬サンゴ礁の水中ごみ回収活動実施
- 2019年 10月●長崎県五島市福江島のオオスリバチサンゴ調査実施
- 2020年 02月●世界アルバトロスデー&シーバードウィーク実行委員会結成  
長谷川会長が委員長就任、OWSが運営事務局となる  
07月●和歌山県那智勝浦町のゆかし潟保全活動開始
- 2021年 02月●WEBサイトリニューアル、主要な活動を4プロジェクトに統合

## 組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとったものです)	
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704 TEL: 03-6432-9917 FAX: 03-5960-3546 URL: <a href="https://www.ows-npo.org/">https://www.ows-npo.org/</a> E-mail: <a href="mailto:info@ows-npo.org">info@ows-npo.org</a>	
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。	
役員	会長	長谷川 博
	代表理事	横山 耕作
	副代表理事	高砂 淳二
	理事	森 紀子
	理事	宮川 貴子
	理事	杉森 雄幸
	理事	池上 喜代壺
	監査役	福田 秀人
	法律顧問	矢田 誠



# 2022年度 活動報告



## ●ネイチャースクール

協賛: オリンパス



①5月3日 ネイチャースクール三浦 (子ども&親子)

「磯・干潟の生きもの観察&漂着ごみ回収体験」

●開催地: 江奈湾・東干潟と磯海岸 ※協力: 剣崎小学校

●参加者数: 26名 (小学生16名、保護者10名)



②7月3日 ネイチャースクール三浦【磯・砂浜コース】

(三浦市内の小学生限定) ※協力: 剣崎小学校

●開催地: 城ヶ島

●参加者数: 4校から13名



③7月30日 海辺の自然教室

「磯・干潟の生き物観察と漂着ごみ回収体験」

(オリンパスグループ社員家族対象) ※協力: 剣崎小学校

●開催地: 江奈湾・東干潟と磯海岸

●参加者: 15名





## 海洋ごみプロジェクト

- **海洋ごみ写真企画展「海洋ごみについて考えよう！」**  
写真パネル22枚とごみ標本の展示

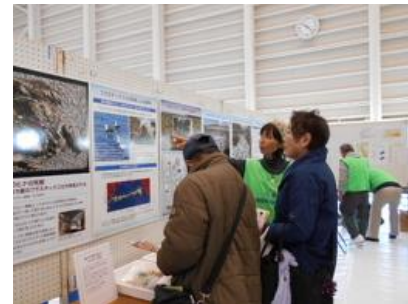
①6月4日～26日 @東よか干潟ビジターセンターひがさす  
●開催地:佐賀県佐賀市 ●入場者数: 2,800名

②7月9日～10日 @維新みらいふスタジアム  
●開催地:山口県山口市 サッカーの試合会場(テント内)  
●入場者数:226名

③8月22日～26日 @豊通ケミプラス株式会社  
●開催地:東京都品川区の社内 ●入場者数: 150名

④11月13日～12月12日 @マルホンまきあーとテラス  
●開催地:宮城県石巻市 ●入場者数: 1,000名

※高砂淳二氏による環境市民公開講座同時開催



## 海洋ごみプロジェクト

### ● 海洋ごみ講演 「海洋ごみについて考えよう！」

①6月21日(火) オリンパス株式会社  
社員対象オンライン講演 参加者:120名

②7月15日(金) ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
社員対象オンライン講演 参加者:73名



### ● ごみ回収活動(受託)

①9月25日(日)  
豊通ケミプラス株式会社主催(社員有志)

- 開催場所:江奈湾東干潟(神奈川県三浦市)
- 参加者:33名
- 回収ごみ量:330kg





## 海洋ごみプロジェクト

### ●水中ごみ回収活動(水中調査委員会)

①11月19日(土)

世界最北・対馬サンゴ礁のごみ回収活動

フレコンバック6袋(6トン)回収

●開催場所:長崎県対馬市

●参加者:9名

②11月27日(日) 田子での保全活動

「水中での釣り糸回収活動」

●開催場所:西伊豆・田子(静岡県)

●参加者:5名





## OWS 海洋ごみプロジェクト Expansion year-2022

### ● 海洋ゴミプロジェクト拡大実施年の結果 2022年4月～2023年3月

- ①企画写真展「海洋ごみについて考えよう!」:4回開催
- ②ごみパネル貸出:5ヶ所
- ③出前授業・授業協力:1回開催
- ④海洋ごみ講演:2回開催
- ⑤江奈湾ごみ回収活動:8回開催
- ⑥水中ゴミ回収活動:2カ所実施(対馬・田子)
- ⑦エコメッシュ募金:10個
- ⑧海洋ごみ啓発チラシ配布(企画展等で配布:500枚)
- ⑨海洋ごみ取材:対馬ごみ取材
- ⑩写真資料展パネルのリニューアル:制作準備中
- ⑪海洋ごみ教材パネル・ガイドブックのリニューアル:制作準備中
- ⑫新ごみ教材の制作:制作準備中
- ⑬投棄ごみ対策:現地視察2回
- ⑭減プラスチックNGOネットワーク参加ほか



- 総イベント数:24
- 総参加者数:4,970人
- 総回収ごみ重量:7.723kg

協賛:VISAジャパン

SMBC 三井住友カード

## 江奈湾干潟保全活動

### ● 観察会(モニタリング) & ごみ回収活動

①4月16日 東干潟 344kg  
参加者:14名

②5月15日 西干潟 317kg  
参加者:31名

③7月17日 東干潟 232kg  
参加者:24名

④9月11日 東干潟 122kg  
参加者:13名

⑤3月11日 東干潟 138kg  
参加者:13名

協賛: VISAジャパン

SMBC 三井住友カード





## 江奈湾干潟でのごみ回収量

11年間 40回の回収 **9,081 kg**



### 江奈湾ごみ回収記録

年度	回数	回収量
2012年度	3	1,307.8
2013年度	4	1,051.8
2014年度	6	652.4
2015年度	4	1,109.2
2016年度	3	474.7
2017年度	2	297.4
2018年度	3	775.0
2019年度	3	506.5
2020年度	0	0.0
2021年度	4	1,188.1
2022年度	8	1,718.80
<b>合計</b>	<b>40</b>	<b>9,081.67</b>



## 江奈湾干潟保全活動

### ● 保全のための地元教員研修会

①7月27日 剣崎小学校教員研修会  
「江奈湾干潟を守るために」  
参加者:10名



### ● 干潟生物調査（毎年1回）

①6月18日 10回目・江奈湾干潟生物調査  
参加者:20名

協賛:オリンパス **OLYMPUS**



## ゆかし潟保全活動

### ● 干潟生物調査



助成：アウトドア環境保護基金

①8月27日～28日 ゆかし潟ベントス調査 参加者：11名

②10月7日～8日 ゆかし潟潜水調査 参加者：8名



8月調査



10月：ウミヒルモ群落 撮影：多留聖典



## モニタリング調査&魚類調査

### 2022年度各調査実施日

- ①串本 10月6日
- ②竜串 10月20日
- ③沖ノ島 10月31日
- ④坂田 11月2日
- ⑤壱岐 11月16日
- ⑥対馬 11月18日
- ⑦安良里 11月25日
- ⑧田子 11月26日
- ⑨五島 12月14日・15日
- ⑩天草 1月19日

天草調査



## 会報「季刊 エブオブ」の発行

### ● 5月20日発行(春号) Vol.85

特集:「環境医薬品による新たな水域汚染を考える」

執筆:征矢野 清(長崎大学)

### ● 8月20日発行(夏号) Vol.86

特集:「繊毛から眺める海の生き物」

執筆:稲葉 一男(筑波大学下田臨海実験センター)

### ● 11月20日発行(秋号) Vol.87

特集:OWS干潟保全プロジェクト

「江奈湾干潟保全の活動報告」

執筆:横山耕作

### ● 2月20日発行(冬号) Vol.88

特集:「山口県のカブトガニを見つめて30年」

執筆:原田直宏(山口カブトガニ研究懇話会)



## ご支援いただいた企業・団体 2022年度

### <寄付:企業・団体>

順不同

- ◆ CSTジャパン株式会社
- ◆ リコージャパン株式会社
- ◆ 三井住友カード株式会社
- ◆ 日本出版販売株式会社
- ◆ 日本郵船株式会社
- ◆ 株式会社東京マツシマ
- ◆ 豊田通商株式会社
- ◆ ブラザー販売株式会社
- ◆ 興洋海運株式会社
- ◆ ブルースタイル沖縄 株式会社
- ◆ 株式会社ツクリ
- ◆ 株式会社ピコラボ
- ◆ ONEWALK株式会社
- ◆ 株式会社クロスウェブ
- ◆ 株式会社キューブコンサルティング
- ◆ 株式会社エイト
- ◆ 株式会社RUNWAYS
- ◆ 株式会社Regalo
- ◆ 株式会社ファーイーストネットワーク
- ◆ 合同会社Lani
- ◆ 株式会社アルビノ
- ◆ 株式会社ナゴウェブ
- ◆ ワミレスコスメティックス株式会社
- ◆ モンベルクラブ(株式会社モンベル)
- ◆ トヨタモビリティ東京株式会社
- ◆ 盛岡市動物公園ZOOMO
- ◆ 日本ネイチャージャーナルクラブ

### <寄付:学校>

順不同

- ◆ 長野県飯山市立飯山小学校 6年2組
- ◆ 横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校 6年3組
- ◆ ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス
- ◆ 聖心女子学院(高等科)
- ◆ ホライゾンジャパンインターナショナルスクール Marine Club

### <活動協賛>

- ◆ オリンパス株式会社

### <業務受託>

- ◆ 国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査
- ◆ 国立環境研究所 魚類調査

### <法人賛助会員(スポンサー)>

- 株式会社ピックルスコーポレーション
- 華山運送株式会社

### <助成>

- ◆ 一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

## 2022年度の活動実績

事業名	事業内容	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」の開催	神奈川	398,236
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」の発行及び配布	全国	1,330,226
	環境学習用教材「海洋ごみ写真パネル」の貸出	全国	
	海洋ごみ企画展「海洋ごみについて考えよう」の開催	全国	
	講演「海洋ごみを考える」の開催	オンライン	
	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク 実行委員会事務局運営・講演会の実施 絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	全国	
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査(国立環境研究所受託)	全国	4,677,370
	魚類調査(国立環境研究所受託)	全国	
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動・観察会・ごみ回収	関東	1,028,153
	江奈湾干潟生物調査	関東	
	干潟ネットワーク調査(紀伊半島・ゆかし潟)2回開催	和歌山	
	三浦市小学校教員研修の実施	神奈川	
事業支出額			7,433,985





# 2023年度 事業計画



## ● ネイチャースクール 3回予定

協賛: オリンパス

**OLYMPUS**

①5月20日 三浦半島城ヶ島 **4年ぶりバスツアー終了** (代々木集合解散)  
「磯の生きもの観察&クラフト教室・ごみ回収体験活動」  
参加者: 14名(+スタッフ 7名) 24kgプラごみ回収



## ☆ 三浦市内の小学校限定特別募集

②6月4日 三浦半島城ヶ島 (現地集合解散)  
「磯の生きもの観察&クラフト教室・ごみ回収体験活動」  
**三浦市内の小学生児童対象** 参加者: 20名(8校) **終了**

③7月19日 「磯の生きもの観察とカメラ教室」  
剣崎小学校6年生 出前授業



## ● 2022年度取組みの積み残し事業

協賛: VISAジャパン

SMBC 三井住友カード

- ①写真資料展パネルのリニューアル
- ②海洋ごみ教材パネル・ガイドブックのリニューアル
- ③海洋ごみ教材学校向けデータ貸出 検討中



## ● 2023年度の取組み・通常プロジェクト

- ①写真資料展「海洋ごみについて考えよう!」:開催目標3回(1回決定)
- ②海洋ごみ教材パネル貸出:8月再開予定
- ③海洋ごみ教材データ貸出:準備中
- ④海洋ごみ講演・出前授業:3回開催(未定)
- ⑤江奈湾ごみ回収活動:3回開催予定(1回終了)
- ⑥エコメッシュ募金
- ⑦海洋ごみ啓発チラシ配布(企画展等で配布)
- ⑧減プラスチックNGOネットワーク(参加)





# 干潟保全プロジェクト2023

## 江奈湾干潟保全活動

### ● 観察会&ごみ回収活動

① 4月22日終了 西干潟 参加者13名

※ 3回程度実施予定



### ● 江奈湾干潟生物調査： 6月18日実施予定

協賛: オリンパス

**OLYMPUS**

# 干潟保全プロジェクト2023

## ゆかし潟保全活動



助成: アウトドア環境保護基金

(3年計画 3年目)

### ● ゆかし潟調査と観察会

- ① 7月1日～2日 干潟ベントス調査
- ② 9月30日 干潟観察会 県立自然博物館共催

### ● 普及啓発活動

- ① ガイドブック制作・配布
- ② ゆかし潟活動紹介WEBサイト制作



希少生物データ  
ガイドブックに有効活用





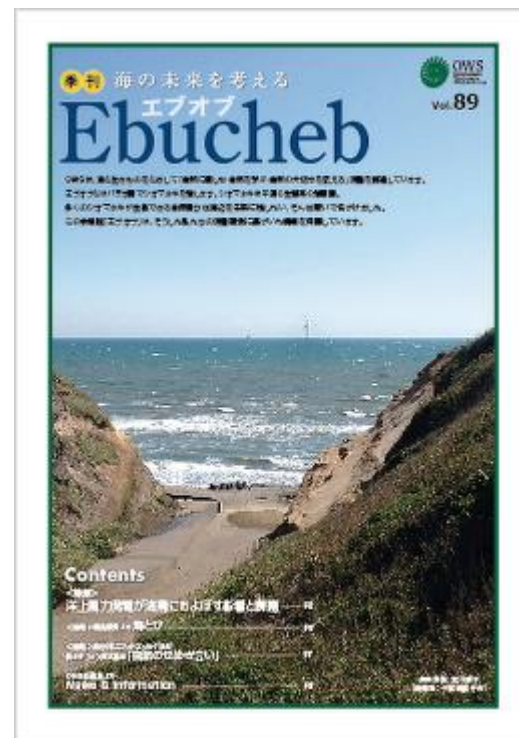
- 造礁サンゴモニタリング調査 & 魚類調査  
10月調査開始 天草～ 8海域10カ所で実施
- 造礁サンゴ探索調査  
6月22日(木) 那珂湊磯崎海岸(茨城県ひたちなか市)  
※スクーバ&スノーケリングでの調査





## 会報「季刊 エブオブ」の発行

- **5月20日発行済み(春号)** Vol.89  
特集:「洋上風力発電が海鳥におよぼす影響と課題」  
執筆:風間健太郎(早稲田大学人間科学学術院・准教授)
- **8月20日発行(夏号)** Vol.90  
特集: タイトル未定  
「投棄・流出した漁具による海洋環境への影響(仮題)」  
執筆:豊島淳子(笹川平和財団海洋政策研究所研究員)
- **11月20日発行(秋号)** Vol.91  
特集:未定 執筆:未定
- **2月20日発行(冬号)** Vol.92  
特集:未定 執筆:未定



# 2023年度の活動予算

事業名	事業内容	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」の開催	関東	391,950
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」の発行及び配布	全国	1,850,609
	環境学習用教材「海洋ごみ写真パネル」の貸出	全国	
	海洋ごみ企画展「海洋ごみについて考えよう」の開催	全国	
	講演「海洋ごみを考える」の開催	全国	
	世界アルバトロスデー&シーバードウィーク 実行委員会事務局運営・講演会の実施 絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	全国	
	ゆかし潟活動紹介WEBサイトおよびガイドブック制作・配布	和歌山	
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査の実施	全国	4,648,682
	魚類調査の実施	全国	
	造礁サンゴ探索調査	茨城	
環境保全協力事業	江奈湾干潟観察会の実施	神奈川	751,663
	江奈湾干潟生物調査の実施	神奈川	
	和歌山県ゆかし潟ベントス調査実施	和歌山	
	出前授業の実施	全国	
<b>事業支出額</b>			<b>7,642,904</b>